

第38回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第38回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成23年3月2日(水) 18:00~19:08	
場所	庁舎北棟6階第22会議室	
出席者	委員	今井範子、片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口清和、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久 (古海忍、坊忠一委員は欠席)
	事務局	息田部長、阪本次長、吉住参事、堀課長、村田主幹、森嶋補佐、平木主任、仲
	コンサル	大木雄介
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料79 第37回策定委員会開催概要及び議事録概要版(案) 資料80 (案)奈良市クリーンセンター建設候補地の選定について(報告)	
会議内容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第37回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) クリーンセンターの候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● もうすぐ18時になります。まだ全員お揃いじゃないんですけども、今日は報道関係の方がお越しになってまして、撮影ですとか、テレビカメラを持ってきております。もちろん、委員会始まる前なんですけども、撮影をしたいということで来ていらっしゃるんですが、皆様、撮影して頂いてもよろしいでしょうか？ では、撮影は今から始まる前までに、お願い致します。 (撮影中)
事務局（森嶋）	<ul style="list-style-type: none"> ● それでは、定刻になりましたので始めさせていただきます。 本日は大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠に有り難うございます。今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第38回目の会合でございます。どうか最後までよろしくお願い申し上げます。 それでは委員会開会にあたりまして、息田環境清美部長よりご挨拶を申し上げます。 「部長挨拶」
息田部長 事務局（森嶋）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の出席状況でございますが、委員総数21名のうち16名ご出席頂いております。従いまして本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。それでは議事に入らせて頂きたいと存じます。議事の進行につきましては、渡邊委員長にお願い致します。
渡邊委員長	<p>1. 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● それでは、只今より、第38回の奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会を開会致します。 「資料確認」
渡邊委員長 事務局（森嶋） 渡邊委員長	<p>(1) 第37回策定委員会議事録概要版の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議事録概要版。事前に配られた物について、事務局に訂正等入ってますか。 ● 特に現在のところ頂いておりません。 ● 特になかったら、承認させていただきます。
渡邊委員長	<p>(2) クリーンセンターの候補地選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今日はですね、資料80ですけども、委員の皆様持っていらっしゃると思いますが、傍聴人の方および報道関係者の方には、今からお配りしますが、資料80というのは、市長に報告をする文面の案で、まだ確定したものではないので、今日の会議の終了とともに回収させていただきます。 理由は、最終的なものはもちろん公開なんですけども、文章に修正や不適切な内容・表現があった場合に、それが流出するのは、非常によくないことですので、無用のトラブルを避けるための回収でありますので、皆様にもご了解頂

きたいと思います。

では、事務局、資料80を傍聴人の方および報道関係の方にお配り願います。

資料80の内容をご説明をする前に、ちょっとおさらいの確認をさせていただきます。これは道路の問題について、地元との話し合いをするにあたって、予算的な話が絡みますので、市長、いわゆる行政部局が、一体となって話し合いの場に出て頂く必要があるということで、この委員会では候補地を選定して、そしてその後、市長はじめ行政部局に、予算的な裏づけを持ちながら、計画に入ってもらいたいという内容の報告書を作るつもりで、今年の1月22日、前回の会合なんですが、そのときにお話致しました。そのときにですね、4地点にするか2地点にするか、そういった話を致しましたが、現地を見てから決めましょうということで、2月14日に現地視察を行い話し合いをしました。それを踏まえて、今日、最終的な文章を決めまして、そして市長に報告をしたいということで今日用意してるものであります。

では、文章をちょっと早口ですが、読み上げていきたいと思います。

(案)平成23年3月、奈良市長仲川げん様、奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会委員長 渡邊信久。奈良市クリーンセンター建設候補地の選定について(報告)奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会では、平成18年2月の第1回策定委員会以来、38回の委員会を開催し、クリーンセンターの建設候補地選定並びに施設整備のありかたについて検討を行ってきました。その中で最重要項目である候補地選定について、慎重に協議・検討を重ねた結果、クリーンセンター建設候補地として下記の○箇所を選定致しましたので報告します。

今後奈良市においては、本報告の検討結果を尊重して頂き、周辺住民の方々の理解と協力を得ながら、早期にクリーンセンター建設用地を決定されることを要望致します。引き続き、本委員会では、地域振興や賑わいのある町づくりに貢献できる魅力ある施設・循環型社会形成に寄与する施設の建設を目指し、施設整備のあり方、余熱を利用した還元施設や周辺の環境整備などについて協議・検討を進め、最終報告書としてとりまとめて、報告することにしておりますので、申し添えます。

記

1 クリーンセンター建設候補地、候補地番号これこれ。で、上記○箇所の候補地に優先順位はありません。参考資料1 クリーンセンター建設候補地の位置図を参照して下さい。

ちょっとここに映してもらえますか。

上記、○箇所の候補地に優先順位はありません。参考資料1 クリーンセンター建設候補地の位置図を参照してください。付帯意見、別紙1の通り、選定経過とその理由、別紙2の通り。

別紙1付帯意見。

1 現在のごみ焼却施設は老朽化が進行しており、また新施設の建設に要する期間を考慮すると、早期に周辺住民との合意形成を図り、最終候補地を決定して施設建設に着手されることを強く望みます。

2 奈良市東部地区自治連合協議会から申し入れのあった道路は、東部地域住民の生活道路であり、クリーンセンターが建設された場合の増加する交通量を勘案すれば、何らかの渋滞緩和及び交通安全対策が不可欠であると考えます。このため、奈良市において関係機関と協議・調整を図りながら、道路改良整備等の方策について、地元と十分に話し合いを行い、地元住民の協力が得られるよう、積極的に取り組んでください。

3 当委員会は、今後もクリーンセンター建設用地の最終決定に向け、地元住民の合意が得られるよう、奈良市と共に、地元との話し合いに参加し、候補地選定の経緯等についてご説明致します。また、当委員会は地元の皆様のご意見を反映したクリーンセンター建設計画の策定を進めていくために、地元住民のご理解を得られるならば、是非とも当委員会に地元代表者の参画を頂きたいと考えております。

別紙2 選定経過とその理由。奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会では、クリーンセンター建設計画の策定について、平成18年2月の第1回策定委員会以来、38回の委員会を開催し、協議・検討を重ねて参りました。その中で最重要項目である、クリーンセンターの建設候補地の選定については、奈良市の全域を対象として、候補地の絞りこみを進め、平成19年11月の中間報告では、15箇所の候補地を選定し報告しました。その後平成20年4月には、住宅地や活断層の近接状況、土地の形状などを考慮して9箇所に絞込みを行い、その候補地を対象に、2度にわたる地権者からの用地募集を行いました。この過程を経て9箇所の候補地について、環境への影響度・経済効率・用地取得の難易度の3項目について総合評価点により比較評価し、平成21年11月13日に開催した第29回策定委員会で、上位2箇所及びやや下位の2箇所の計4箇所の候補地を選定して報告しました。4箇所の候補地が東部地域に集中したことから、奈良市東部地区自治連合協議会から改めて、幹線道路の整備が重要であるとする申入書を頂き、当委員会では、周辺住民の意見・要望を踏まえながら最終候補地の選定作業を行うべきと考え、引き続き道路部会において、実現可能な方策の検討を進めてきました。そのような中で、今後、道路問題の具体的な改善策を提案し、周辺住民の意見・要望を伺いながら、建設計画を進めていくためには、事業者である奈良市が前面に立って対応する必要があると判断し、候補地を更に絞り込んで奈良市に報告すべきとの結論に達しました。このことから平成23年2月14日に4候補地を現地調査し、平成23年3月2日に開催した第38回策定委員会において、先の総合評価点及び現地調査による総合的な判断の結果、候補地として、それぞれの○箇所を選定しました。

	<p>以上のような選定経過とその理由により、委員会設置要綱に掲げる当委員会の所掌事務のうち、奈良市クリーンセンター建設用地の選定については、この〇箇所候補地をもって、当委員会の最終検討結果として報告するものです。なお、候補地選定の流れについては、参考資料2 候補地の選定方法について（選定フロー図）を参照してください。</p> <p>ということで、参考資料2、1次選定、2次選定、3次選定ということを書いております。現在、⑭候補地の選定、候補地〇箇所を選定し奈良市に報告、平成23年3月〇日。これを今日ここで決める訳でございます。今、一応棒読みしました。前回2月14日に現地視察に行きまして、これ、言葉の訂正を一箇所しないといけないんですが、別紙2のですね、下から7-8行目、このことから平成23年2月14日に、4候補地を現地調査しというのと、次の行の、先の総合評価点及び現地調査による総合的などというので、現地調査という言葉を使っておりますが、参考資料2の選定フロー図の方では、⑬のところで、最終候補地の絞り込みで、現地視察等による絞り込みということで、現地視察という言葉を使っています。これは意味合いは全く同じで、全く違う言葉を使っただけですので、あまりどちらがいいという訳ではないんですが、調査というと、何かモノサシ持って計ったようなイメージがありますので、単に見ただけですので、視察に改めたいと思います。</p>
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● ⑥-1が交通の便利がいいということで、私が⑥-1で心配してたのが、青山住宅という住宅地があるんですけどね、そこから比較的近いということで、どうなるのかということで。当日、青山住宅の方に回って、見に行った訳ですが、全く死角になってましてね、そういった意味で、住宅地等は全く影響がないというふうに、私は感じました。 <p>それとあと、道路も新しくついてきてるんですかね。そのことも非常に便利ではないかという気もしましたので、⑥-1は問題がないというか、元々点数も高かったんですが、一つの候補地としてはいいのではないかという感想をもちました。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路の話ですけど、これ全て⑥-1の左側の青い細い道を通っていくんですけど、曲がりくねって。あんな月曜日の寒い午前中に車が混むことはあまりないですけど、これは混んだら大変だということは、確かに地元のおっしゃるとおりで、すごい状態ではありましたね。だから、あれは全面的に太くすることは多分難しいんだろうと。それも私も感じましたけど。ここはこうしたらいいというのは、恐らく地元の方は個別に意見をお持ちだと思います。それは感じました。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● あと一点その、⑥-1から若草山が見えたんだっと思ったんですよ、確か。だから若草山からの遠望景観は配慮したようなものにする必要はあるんじゃないかなという感想を持ちましたね。逆に若草山から見たときの遠望景観を破壊しないような建物、いわゆる陸屋根にしたりね、京都の処分場みたいな形にす

<p>笹部委員</p>	<p>る必要はあると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今、話題になってる⑥-1ですけど、その場所にちゃんと収まるのかどうか若干問題があったのかなと思うんですが、実際見に行くと、ちょっと傾斜地の部分を使ったら十分収まると確かそういうことだったですね。それと、この下に住宅があるんですけども、恐らく下が急すぎて、煙突とかが見えるようなかたちにはならないのかなという、そんな感じだったということ。それとやっぱり、一番この東部の地区に入る手前になりますので、そこから奥へ行くと、パッカー車がたくさん通ったら、影響大きいと思うんですけども、ここが交通の便では、一番影響が少なくないんじゃないかなと思いました。
<p>三浦委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● えっとですね、⑥-1で、前に評価したときに点数が低くなったのは、産廃が埋まっていたとか、一般廃棄物の処理場があったとかいうことで、非常に評価が低かったと思うんです。そのあと、視察のときにですね、いろんな地形等を見させてもらったら、そこを外しても、⑥-1では、新しいクリーンセンターを建てるだけの用地は確保できるんじゃないかなと思ったんですが、事務局、そのへんは外してもある程度の面積を確保できるんじゃないかな。
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物の処分場の跡地は今中ノ川グラウンドとして利用されております。基本的に一般廃棄物の処分場の上には、施設を建てることはできませんが、廃棄物の処分等の問題がありますので、仮にここで計画するんでしたら、傾斜はちょっと急なんですけれども、この外したところで建物配置計画を検討したいと思います。面積的には10haということで、その内施設の面積としては2ないし3haの建物ですので、この廃棄物処分場を100%外せるかどうかは別として、できるだけかけないような配置計画が、ここでは必要かなと考えております。
<p>三浦委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今、事務局から説明がありましたように、当初の評価したときは、あくまでも図面だけで、一回視察には行ったんですが、その辺の事情があまりよく分からないような状況の中での評価点でしたから、今回そうやって、実際現場を視察させて頂いてですね、この用地だったら、産廃とか一般廃棄物のごみがあったところを避けてもいけるなというふうな感じがして、ちょっと、当初思ったより、やや私個人の気持ちとしては高くなったかなというような気がします。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 配点については、⑥-1と⑥-2が高くて、⑨-1と⑨-2が低いと。2つ2つこういう関係があったと思いますね。前は、そうでした。
<p>吉岡委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地を改めて見させてもらった限りでは、やっぱり今おっしゃってるように、評価点の差があるんで、遠い方の⑨-1、2は少し外れるかなと。⑥-2のほうが確か評価点が高かったんですけども、⑥-1の方が近いと。⑥-2の方は、また集落を通らないといけないというようなことですので、甲乙付けがたく2つかなと、私は感じております。以上です。
<p>A委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は⑥-2がですね、ちょっと心配したのは、この地区の中に農地があってそれを法人が取得しているはずですが、おそらく農地のままで耕作されてる。ちょっとそのへんの不安と。もう一つは、これ一面木が生えた林地でございま

渡邊委員長	<p>す。これを開発してしまう土地を荒らす木を切るというのはできるだけ避けたほうが良いと感じております。</p>
森住委員	<p>● ⑥-2については、実際森の中でしたね、見た目はそうでしたね。大体こんな感じの議論がいくつかあったかと思いますが。</p>
A委員	<p>● 今の片山さんの論点はですね、ここかなり広いんでね、それだけ全部買う訳と違いますからですね。一応候補地の予定地として入ってですね、それが、持ち主の方が売りたいと言っているところですからね。全部を行政が買うわけと違いますからですね。今おっしゃった農地の問題は、避けることが可能ですから、だからそれ程減点対象にならへんと思うんですよ。</p>
渡邊委員長	<p>● ただ、開発するのにですね、農地の方が加工するには非常にいいところなんですよ。</p> <p>● 避けないといけないというよりも、我々避けたいものがいっぱいありましてね、土地開発公社も色々ややこしい話もあるので、あとこの埋まっている一般廃棄物、産業廃棄物の件と、あと土壤汚染対策法が、これからどうなっていくか、まだ混乱してるんですよ。どちらにしても、何か調査しないといけないということは分かってるんですけども、どれくらいお金かかるかということについてははっきりしてない。一時期すごく法外な金額になるというふうに言われたこともありましたが、今は汚染された土壤があったとしても、それを安易に外へ運び出してはならないと。現地封じ込めしなさいという方向に、今、土対法も変わってますので。昔、この⑥-1の点数を下げた理由というのは、土対法が平成14年にできて、改正が20年か21年ぐらいなんですけどね。全部、有害物を掘り出さないといけないという、そういう状態のときから、今はずいぶん変わりましたので、そのへんの見通しもこれから変わってくると思いますので、ちょっと流動的かと思います。で、⑥-1と⑥-2に、皆さんの目がいったと思うんですけども、今、⑥-1に対する賛成意見と、それから簡単に順位は変えにくいんじゃないかという御意見とあった訳です。</p>
山口(裕)委員	<p>● 報告書の案とそれから付帯意見ということで、⑥-1、⑥-2それから⑨-1、⑨-2も全て東部地域というか、候補地としては東部のエリアということで、具体的に東部地区の連合協議会からもご要望頂いて、当委員会ですべてその件については慎重に対応もさせて頂いてきたところですので、付帯意見の中で、その点が反映されておりますから、これはこれでいいというふうに思います。同時にですね、得点付けと今の議論では⑥-1、⑥-2が有力ということになってくるのかなと思うんですけども、特に⑥-1は元々奈良市の廃棄物の処分場であったということで、私が聞いているのは、西側のエリアですね、川上町特に飯守という町の皆さんと、以前に、処分場があったということで、奈良市との一定の話し合いとか過去の経過があるというように伺っておりますので、⑥-1が選定をされるということであれば、東部の皆さんの御要望に対して対応をきちっとしていくのは当然ですけれども、西側のエリアですね、</p>

<p>渡邊委員長</p>	<p>鼓阪の住民の皆さんとの対応も、同時に、市が主体的にやって頂く話ですけども、私達の委員会としては、共通の認識として、そういうことも必要だということをおかさないといけないかなというふうに思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● それも重要なことですね。 <p>こういう視察をしまして、⑥-2がトップで、1と2は僅差で、⑨については、⑨-1、⑨-2はかなり遠いなってことと、そこまで道路整備は難しいだろうと実際のところそれを感じましたし、パッと見た感じは⑥-1の方が広くてですね、何かいいように見えるんですけども、只、土地取得の問題ですとかもありますし。⑥-2は近づいて、実際行ってみると、家が結構並んでいるところを毎日多くのパッカー車などが走るというのもいかなものかと感じたのは、私も皆さんもそう感じていると思いますので、やはり行ってみないと分からないこともございますので。ここは⑥-1と⑥-2の併記という形で、報告で持っていきたいかなと思いますが、いかがでしょうか。最終的に一つに決めたほうが気持ちがいいのかもしれないですけど、ここは2地点の状態、市長に一旦お返しして、後、今後の進めるにあたって、最近の焼却施設、最近のゴミのですね、処理処分の話とか、そういったことの勉強も踏まえながら、またこれからは我々委員会としては協力したいかと考えておりますが。</p> <p>⑥-1、⑥-2という形で、併記という形でいかがでしょうか。皆様。ご了解頂けますでしょうか。</p>
<p>一同 渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 異議なし ● よろしいでしょうか。では、そのような形で、市長に報告したいかと思っております。よろしいですかそれで。
<p>三浦委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すみません。一番頭の所の奈良市長 仲川げんと書いてあるんですが、げんというのは通称名ですから、本来こういう公文書的なものについては、元庸という本名でお書き頂いた方がいいんじゃないかと、提案させていただきます。
<p>渡邊委員長 三浦委員 元島委員 三浦委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 通例、どうされていますか？ 元庸ですか。本名ですか。 ● 仲川げんというのと元庸というのを使い分けしてるんです。 ● 使い分けしてるんですか。それも多少あいまいですね。 ● ただ、通称名ですから、私が勝手にミスターXとかですよ、付けてるのと同じで、小さい頃にげんと呼ばれてたから、げんやて通してるんですが、これはいかなものかと思うんです。やっぱりこういう公文書に使うときは、元庸という名前を出すべきじゃなからうかというふうに思います。
<p>渡邊委員長 事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● おっしゃるとおりかと私も思います。 ● 今日、委員さん皆さんにお配りしているところ、○のところですけど、どういふふうに埋めるかだけ、説明させて頂いてよろしいですか？
<p>渡邊委員長 事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● はい、どうぞ。地名とか間違いなかったですか？ ● 今日委員会で決めて頂いた中身の確認をさせていただきます。 まず、一点は市長名ということで、仲川元庸という形で、げんから元庸に変

	<p>更させて頂いております。</p> <p>ずっと、下っていきまして、下記の○箇所ということで、2箇所決めて頂いたので、2を入れさせて頂きました。</p> <p>もう少し下がって頂いて、候補地番号につきましては、⑥-1、川上町並びに中ノ川町地内、併せて⑥-2ということで、中ノ川町と東鳴川町地内。次に※印のところなんですけど、上記○と書いてますので、2箇所の候補地に優先順位はありませんという対応で、1頁目は修正させて頂きます。</p> <p>続きまして、別紙2なんですけども、ここについても後段の方なんですけれども、このことからというところなんですけども、今、委員長が先にお話頂いたように、現地調査というのを視察ということで2つ変えさせて頂きました。</p> <p>併せまして、候補地として⑥-1と⑥-2の2箇所を選定しましたと。いうことで、この赤字の部分を訂正させて頂こうかなと思っております。</p> <p>続きまして、以上のような選定経過によりましてということで、奈良市クリーンセンター建設候補地については、この○と書いているところへ、2箇所ということで入れさせて頂きます。</p> <p>フロー図ですけれども、この場所に○のところへ2箇所を選定し、奈良市に報告と。で、日が平成23年3月の今日、2日ですので、今日決めて頂いた2日の日を入れさせて頂くということにさせて頂きます。</p> <p>地図につきましては、今日、決めて頂いた⑥-1と⑥-2をピックアップしてですね、位置図として整理させて頂こうかなと思っております。</p> <p>以上で、修正箇所の説明を終わらせて頂きます。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 詰めはやっておかないといけませんから。ではこの文章で、市長に報告致します。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ● これからも具体的な施設計画とか、そういう話に入っていくと思うのですが、この⑥-1と⑥-2は、2箇所に決まった訳なんですけれども、このあたりの東部地区の奈良市の現行の総合計画とか景観計画とか、都市計画、観光計画、緑の計画。そういうものを再確認しておく必要があるのではないかと思いますので、事務局のほうで、そういう資料を収集して頂いて、この策定委員会の共通認識として再度確認しておくということをお願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● そうですね。このへんは市役所の中にですね、いろんな部局があると思うんですけども、環境部局だけでやるのではなくて、他の部局に、こんな話で進めていいだろうかと、何か問題起こらないだろうかという、それこそまさに建物の中で、まずあちこち当たって頂いて、既存の計画、これからできそうな計画というのと、観光計画ですか。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ● おくには月ヶ瀬村がありますから、あのあたりに関連する道路もある訳ですが、総合的に考えながら、地域活性化に係るセンターとか、そういう話ですので、どういう内容の性格を持つクリーンセンターかを考えていく過程が次の議

<p>渡邊委員長</p>	<p>論になっていくようですので。そういうことは基礎的な認識として。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そのあたり、道路と地元住民との話し合いも含めてですね、今後進めていきたいと思っています。事務局的にも他の部局との折衝等も、そろそろ始めて頂きたいと思っております。よろしいですか？一応場所については決まりましたけども、皆さんは普段、道路の状況というのはご存知かと思うんですけども、もちろん全面的に太くすることは難しいけれどもあそこを勢いよく走られたら怖いなあとすごく感じましたけども。あそこは特に危ないですか？それとも他にもあるんですか？市全体がああいう感じの道路なのか、或いはあのへんだけなのか。それでも、交通量が増えるっていうことだと、それ相応の対策は必要かなとは思いますがね。
<p>渡邊委員長 佐藤委員</p>	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次の日程はいつぐらいになりますかね。5月の終わりぐらいですか。 ● 全体的に遅れてますからね。ものすごく遅れてるから。これで一つ場所については、出ましたけどね。ざっと1年遅れてる訳でしょ。用地取得はもっと遅れるから。やっぱり5月中に入れてほしいと思います。
<p>渡邊委員長 事務局（森嶋）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今、そういう強い意見ありましたので、そしたらそうですね。5月26日をお願いします。 ● それでは、委員会の方から冒頭をお願いをさせて頂きました、傍聴人さん及び報道関係者の方にお配りしました資料につきまして、回収をさせて頂きますのでよろしくお願い致します。 <p>それでは、皆様方には、長時間にわたりご審議を頂き、誠に有り難うございました。尚、次回策定委員会は、4月27日水曜日の開催でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。どうも有り難うございました。</p>